

## 1. <施策の概要>

基本理念	次世代を担う豊かな心と創造力を育む教育環境のまちづくり	統括課	教育部 学校教育課
基本方針	学校教育		
施策名	教育環境の整備・管理	関連課	精北小学校、川西小学校
方針・目標等	◆児童・生徒の学習、生活の場である学校施設の耐震化。◆バリアフリー化による安全で快適な教育環境の整備と充実。		山田荘小学校、東光小学校
			精華台小学校、精華中学校
実施内容	◆耐震化やバリアフリー化等の計画的な施設整備。◆普通教室への空調設備の設置。◆給食室のドライシステム化。◆快適で誰もが使いやすい学校施設の整備。	精華南中学校、精華西中学校	

## 2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績/年度				
①	○ 学校施設耐震化率	%	京都府内平均	91.5   23	耐震化済棟数/全学校棟数			
②	○ 普通教室空調設備設置率	%	京都府内平均※京都市除く	23.8   23	設置済み普通教室数/全普通教室数			
③	学校施設バリアフリー化率(EV設置率)	%	京都府内平均	11.4   22	設置済み校数/全学校数			
④	給食室ドライシステム普及率	%	京都府内平均※京都市除く	29.6   22	ドライシステム化済み施設数/全施設数			
⑤								
			H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(試算)	H25(試算)
①	目標		79.5	92.5	92.5	92.5	92.5	92.5
	実績		79.5	92.5	92.5	92.5		
②	目標		7.1	7.1	6.9	6.9	18.1	18.1
	実績		7.1	7.1	6.9	6.9		
③	目標		62.5	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
	実績		62.5	75.0	75.0	75.0		
④	目標		40.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	実績		40.0	60.0	60.0	60.0		
⑤	目標							
	実績							

### 3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・学校施設の耐震化対策については、児童・生徒の安全を確保し、安心できる良好な教育環境とするため、これまで順次進めてきているところであり、東日本大震災を受け、国が耐震化の完了目標と示した平成27年度までに、精華中学校の校舎3棟及び山田荘小学校屋内運動場の耐震化と、精華南中学校屋内運動場の非構造部材の耐震化を完了させることが喫緊の課題となっている。

・学校施設のバリアフリー化や普通教室への空調設備の設置、さらには給食室のドライシステム化などについても、今後財政状況を勘案する中で、未実施の施設について順次改善を図り、より安全で良好な教育環境の整備に努める必要がある。

### 3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・東日本大震災を受け、国の目標として、耐震性の確保されていない公立学校施設について、平成27年度までのできるだけ早い時期に耐震化を完了させるという目標が示されたため、本町においても、厳しい町財政状況にはあるが、一日も早く全学校施設の耐震化を完了し、児童生徒が安全で安心して学校生活をおくれる環境整備を図る必要がある。・学校施設は、災害発生時においては、広域避難場所としての役割を果たす重要な施設でもあるため、日常の安全点検の徹底と、誰もが使いやすいユニバーサルデザインや防災機能を備えた、地域住民も安心して利用できる施設となることも要請されている。・さらに、昨今の夏場における暑さに対応するため、小中学校の普通教室への空調設備の設置による教育環境の改善も望まれている。

#### 4-1. <施策を構成する事業>

重点	部門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
		H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(予算)	H25(試算)
1	学校教育課	-	-	3,872	4,449	18,084	43,084
	精華中学校校舎改築等事業	-	-	2,415	1,365	15,000	40,000
	投資的事業 243	-	-	2,415	0	0	0
2	学校教育課	-	-	-	2,679	20,265	-
	小学校空調設備整備事業	-	-	-	814	18,400	-
	投資的事業 235	-	-	-	0	18,400	-
3	学校教育課	-	-	-	1,963	12,475	-
	中学校空調設備整備事業	-	-	-	488	11,000	-
	投資的事業 243	-	-	-	0	11,000	-
4	学校教育課	-	101,845	120,392	107,620	123,007	123,007
	小学校管理運営事業(小学校5校分含む)	102,195	99,535	114,018	101,860	117,247	117,247
	一般事業 227	-	99,535	114,018	101,860	117,247	117,247
5	学校教育課	-	601,812	136,423	136,794	136,573	136,351
	都市機構等立替施行償還事業(小学校分)	220,788	600,767	135,924	135,710	135,489	135,267
	一般事業 235	-	423,148	35,924	105,710	135,489	135,267
6	学校教育課	-	-	-	2,501	15,416	-
	小学校暑さ対策事業	-	-	-	685	13,600	-
	投資的事業 235	-	-	-	0	13,600	-
7	学校教育課	-	55,957	59,789	71,193	72,112	72,113
	中学校管理運営事業(中学校3校分含む)	53,070	54,346	53,894	67,405	68,324	68,325
	一般事業 237	-	54,346	53,894	57,661	68,324	68,325
8	学校教育課	-	309,279	308,896	310,264	310,302	310,344
	都市機構等立替施行償還事業(中学校分)	308,202	308,234	308,267	308,301	308,339	308,381
	一般事業 241	-	0	83,267	308,301	108,339	308,381
9	学校教育課	-	-	-	1,791	8,426	-
	中学校暑さ対策事業	-	-	-	365	7,000	-
	投資的事業 243	-	-	-	0	7,000	-
10							

#### 4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

- ・昨今の夏場の暑さに対応するため、各小中学校への特別支援教室へは空調設備を設置することとし、普通教室へは緊急措置として、ドライミスト装置を設置することとし、それぞれ設置工事に向けた設計を行うことができた。
- ・精華中学校校舎の耐震化を改築で行うにあたり、学校関係者等へのアンケートにより幅広く意見を聴取し、設計のベースとなる基本構想を策定することができた。
- ・その他、学校施設、設備の老朽化に伴う修繕や、学校図書や各種管理備品等の充実を行った。

#### 5. <施策の今後の方向性>

- ・児童・生徒が、安全で安心して快適に学校生活を過ごせる良好な教育環境を確保するため、最優先課題として学校施設の耐震化率100%を早期に目指すこととし、次の課題として、施設のバリアフリー化や普通教室への空調設備の設置、さらには給食室のドライシステム化についても、できるだけ早い時期に実施率が100%となるように進める。
- ・学校施設は災害発生時においては広域避難場所としての役割を果たすことから、今後、施設の大規模改修などを実施する際には、防災機能の強化、誰もが利用しやすいといった観点からも、できる限り充実したものとなるよう努める。